



令和3年度 第3学期始業式 校長講話 R4.1.11 (火)

皆さん、おはようございます。新しい年が明けました。今年もよろしくお願ひします。

はじめに、コロナ感染症についてお話しします。皆さんも知っていることと思いますが、ここ数日で、新規感染者数は急増しています。専門家がAIを使った試算では、東京都におけるオミクロン株の市中感染の新規感染者数は2月に3,000人を超え、3月も3,000人以上で推移する可能性があるとして発表されています。実際には、もっと早い段階でこの数字に達してしまいそうな勢いです。今日から学校が始まりますが、このような状態が続けば、今後、昨年のような緊急な対応が必要となることが予想されます。手洗い、密の回避、換気、部室の使い方、食事の際の注意など基本的な感染予防の徹底をお願いします。また、家庭内感染も増加しています。家でも出来る限りの予防対策をお願いします。改めて、緊張感をもって学校生活を送ってください。

話は変わりますが、今年の干支は寅（とら）です。

寅は十二支の3番目で、子年（ねずみ年）に新しい命が種の中で芽生えはじめ、丑年（うし年）には種の中で育つがまだ伸びることができない。寅年は春が来て根や茎が生じて成長する時期、草木が伸び始める状態だとされています。

是非、そんな成長の年にしたいものです。

また、今年はずだの「寅年」ではありません。ちょうど「五黄の寅」（ごおうのとら）と呼ばれる年です。これは九星（きゅうせい）と称する中国の民間信仰と十二支を組み合わせたもので、最小公倍数が36になります。つまり36年に一度、寅年の3回に1回が「五黄の寅」になります。今年生まれる人、今年36歳になる人、さらに72歳、108歳になる人が「五黄の寅」です。この年の人は最強の運勢を持っていて、生まれながらにしてリーダー気質を持ち、周囲を圧倒する強大なパワーを持っているそうです。

特に女性は、社会で活躍する人が多いとされています。芸能人では石原さとみさん・北川景子さん・杏さん・イモトアヤコさん・和田アキ子さん・八代亜紀さんらが該当者です。男性では中村倫也さん・サッカーの本田圭佑さん・亀梨和也さん・山崎育三郎さん、舘ひろしさん・梅沢富美男さんなどです。皆、個性的でパワーがありそうな人たちです。

皆さんの周りにいる「五黄の寅」の人はどんな人なのか確認しても面白いかもしれません。

さて、2学期の終業式では

「気持ち次第で人は変わることができる」という話をしました。

まずは今年一年、どのような年にするか、強い気持ちを持って臨んでください。

今日は「休眠打破」という言葉を紹介します。

寒い日が続いていますが、この寒さが厳しいからこそ、サクラの咲く春がうれしく感じられます。

春に咲くサクラの花芽（かが）（花のめです）は、前年の夏に作られます。そして、その後、冬眠のような「休眠」という状態になります。休眠した花芽は、一定期間、低温にさらされることで、眠りからさめ、開花の準備を始めます。これを「休眠打破」といいます。休眠打破は、この秋から冬にかけて一定期間、低温にさらされることが重要なポイントです。つまり、寒さにさらされないときれいなサクラが咲かないということです。

そして、春をむかえ、気温が上昇するにともなって、花芽は成長「生成」します。気温が高くなるスピードにあわせて、花芽の生成も加速します。生成のピークをむかえると「開花」することになります。

このように、サクラの花芽の「休眠」・「休眠打破」・「生成」・「開花」は、秋から冬にかけての気温と春先の気温に、大きく関係しているということです。

冬のない常夏の国では、日本のサクラは、美しく咲かないそうです。サクラは、四季のある美しい日本の国で進化した植物ということなのです。

なるほどと思うと同時に、人間にもある程度の「寒さ」が必要なのかなと思います。それは、試練とか、困難とか、苦勞とかにあたるのかなと思います。それを、乗り越え、「休眠打破」しないと花は咲かない。この「寒さ」から逃げないで、いかに頑張るかでどんな花が咲くかが決まってくるように思います。

3年生はあと少しの高校生活をどのように過ごすかによって、どんな花が咲くのかだと思います。美しいサクラが咲くことを祈っています。

また1・2年生は、今年目標を定め、しっかりその目標に向かって準備をし、努力をすることできっと「休眠打破」し、一回りも二回りも大きくなった新学年を迎えられると思います。

それでは、今年が皆さんにとっても鳩ヶ谷高校にとっても輝かしい一年になることを祈念して挨拶とします。